



会長	紺野 広	青少年奉仕	夏川戸 齊
副会長	橋本 昭一	幹事	松本 剛典
クラブ奉仕		会計	妻神 和憲
会長エレクト	橋本八右衛門	会場監督	佐々木泰宏
職業奉仕	道尻 誠助	直前会長	小林 幹夫
社会奉仕	岡崎 孝文	副幹事	小田山紀暢
国際奉仕	鶴飼 寿栄	会計補佐	小井田和哉

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX	(43) 0661
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	峯 正一	同副委員長	上村 奉樹
同委員	妻神 和憲	同委員	野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ

世界に希望を生み出そう

和而不同 (わじふどう)

国際ロータリー会長 ゴードン R.マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

6月 は ロータリー 親睦活動月間です

第3314回例会 2024.5.22

▶ゲスト 小倉 学八戸クリニック街角ミュージアム館長

会長要件 紺野 広 会長



小林幹夫さんが、中村稔彦さんに続き、当クラブから2人目と成るパキスタンでのポリオ(小児麻痺)ワクチン接種活動に行つて来て下さいました。本日、其の報告をして下さいます。ポリオは後、パキスタンとアフガニスタンの2か国だけだ。後少しで根絶出来る。国際ロータリーからは、そう言うメッセージが我々ロータリアンに届けられて来ます。しかし、実際は、2か国だけで流行というのは、野生株だけの話で、野性株自体の2カ国外への伝搬も時々確認されて居ます。経口生ポリオワクチン由来のウイルスの2次感染で起きているポリオ感染症は、世界各国で発生して居る状況です。只、野生株程の伝播力は無いですし、病毒性も低いですので、野性株程重要視されては居りません。政治的な問題で中々我々が其の2か国内全域に踏み込んで活動す

る迄には至つて居りませんが、もし野生株が根絶された場合には、次に経口生ポリオワクチンで起きて居るワクチン関連の2次感染ポリオが課題と成つて参ります。多くの先進国で導入されて居る不活化ワクチンの注射製剤の普及が検討される事に成ります。後少し後少しと云いながら、全く後少しではありません。只、あれだけ紛争の酷い地域にだけ粗野生株を閉じ込められて居ると云う事は一定の成果と評価して良いのではと思つて居ります。今日は、本当の紛争地内には入れませんので、そう云う場所の外周ではありますが、日本と全く違う状況下で活動して来た小林さんの御話しを楽しみにして居ります。

小倉学さんは当クラブ会員の小倉和也さんの弟さんで、街角ミュージアムを運営されて居ます。我々が知つておく幕、八戸の歴史等も今日詳しく御話し下さると云う事です。今日は予定が詰まつて居りますので、会長要件は以上と致します。

幹事報告 松本 剛典 幹事

○今週の月曜日に4名の新会員推薦書を事務



局よりご案内しております。
異議申し立て期間は日曜日ま
での期限ですので、よろしく
お願いします。

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会

宮下 悟委員



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 村井 達さん
- ・奥様誕生祝
前原俊彦・道尻誠助
澤藤孝之・堤 幸治さん

- ・結婚記念日 村井 達さん

渡辺 孝 } 小倉さん、卓話よろしくお願
小林幹夫さん } いします。

橋本八右衛門さん 先週の「地区研修協議
会」参加された皆様、お
疲れ様でした。キーワ
ード「心が洗われる会長挨拶」
ますますハードルが
上がりました。

鈴木隆広さん 28℃の中うみねこマラソン完
走いたしました。上村さん応
援ありがとうございました。

熊谷清一・赤澤栄治さん ニコニコデー

ロータリー情報委員会

道尻誠助委員長



最近新しい会員の方も増え
てきていますので、ふだん接
することのできないロータ
リーの基礎的部分をご紹介します
したいと思います。ロータリー

情報委員会の選りすぐりの2人の方、小井田
和哉さんと小林幹夫さんがご説明しますので、
心の中に入れておいていただければと思いま
す。

ロータリーの目的について 小井田和哉委員

ロータリーの目的は、皆さんご存じと思いま
すが、1905年にシカゴロータリークラブが
できました。翌1906年にシカゴロータリーク



ラブの綱領が発表されました。
本クラブの会員の事業の利益
の増大、通常社交クラブに付
随する親睦およびその他、特
に必要と指示する事項の推進。

相互扶助と親睦の考え方、この2つが目標と
いうことに設定されたようです。その2年後
(資料によっては1年後の表示)に3つ目の
目標を追加しています。会員を募集してい
たら、自分たちのことだけ考えているクラブに
入れないということがあったようで、シカゴ
市の最大の利益を推進し、シカゴ市民として
の誇りと忠誠心を市民の間に広めることで、
ここに**社会奉仕**という考え方が追加されて3
つの綱領になったようです。

その後アメリカの中でロータリークラブが
増えてきて、1910年に全米ロータリーク
ラブ連合会が作られ、この時16クラブあった
そうです。この時にロータリーの綱領を新た
に設定しようとなり、親睦は外れたそう
です。物質的相互扶助も段々と外したほうが
いいのではないかという話になったようです。

その2年後の1912年にアメリカ以外にもク
ラブが増えてきたということで、国際ロータ
リークラブ連合会と名前が変わりました。今
のR Iの前身です。このとき全世界で50ク
ラブあり、ここでも親睦と相互扶助はR Iの綱
領からは一切外しようということになっ
たようです。あくまでもR Iと各個別のク
ラブは別物の綱領を掲げようということで、
国際ロータリーからは外れたということです。

ロータリーの綱領は1922年に国際ロータ
リーに名称が改称されて、ここでロータリー
の綱領を改正しました。現在の原型になる6
ヶ条からなるものだったそうです。その後
1935年に、今は「ロータリーの目的」に変
わっていますが、ロータリーの綱領とほぼほ
ぼ同じようなものができました。前文と4か
条と本文。The Objects of Rotary. 複数形な
ので本文は複数、4つあるのが本文だと解釈
されていたそうです。

その後1951年にObjectsの“s”を取って
“Object”にして、あくまで単数、目標は1

つである。4つのほうは付随項目だという解釈に変更したということです。その後現在のものは2012年（資料によっては2013年）、日本で「The Object of Rotary」の日本語訳を“綱領”から“目的”に変更して、さらにその内容も訳も変更されて、今の形になっています。

それがここに書いている「ロータリーの目的」です。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することである：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

簡単に言い換えると、ロータリーの目的は奉仕の理念を広め、その価値を高めていくこと。そしてロータリアンとは個人生活、職業生活、社会生活等、人生すべての面で奉仕の理念の研鑽と実践を行う。そういう人になりましょう、そういうことを奨励しますよということになっています。

奉仕の理念は具体的にどうということ？を最後に説明します。奉仕の理念 The Ideal of Service 全世界のロータリークラブは1つの基本理念、奉仕の理念を持っています。それは他人のことを思いやり、他人のために尽くすことです。従来チェスレー・ペリーという方が書いたものに奉仕の理念について書いたものはこれしかないと言われていましたが、1931年にR Iが発行した資料の中にこのことばで奉仕の理念を表しているという文頭が

あったそうです。

1. 超我の奉仕Service above self……これはロータリーの第一モットーといわれているものです。
2. 最もよく奉仕するもの最も多く報いられる……ロータリーの第二モットー
3. 他者への思いやり……他人のことを思いやり、他人のために尽くす
4. 人にしてもらいたいと思うことは何でもあなた方も人にしなさい……聖書の中のマタイの福音書。聖書の中にロータリーの奉仕の理念をうまく表しているものがあってので使うことにしたのでは

ロータリアンの行動規範 小林幹夫委員



皆さんの目の前に答えがあります。四つのテストの左隣にロータリアンの行動規範という形で5つあります。この前身はなにかというと、1989年に採択された「ロータリアンの職業宣言」は走りといわれています。ただ時代を経て、職業人以外にも会員が増えましたので、その“職業”というのがとれて、「ロータリアンの行動規範」という形で制定されたと聞いています。現在のロータリーの行動規範は2019年、今から5年前にR I理事会で決まった内容の5つになっています。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準を持って行動する
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びととの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動

においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起らないよう確認する。

4、5は時代を反映しているというか、作ったのが日本人ではなくどうしてもアメリカ人中心のものなので、どうしてもこういう内容になるのかなと思っています。いずれにしてもこの5つの行動規範に従って、行動していくことがわれわれロータリアンに求められていることになります。わたし個人的には先ほど言った最初の3つを心に秘めながら行動していきたいというふうに思っています。また皆さんも折がありましたら、四つのテストの隣の行動規範のほうも読んでいただければと思っています。

ポリオ根絶運動について

「End Polio inパキスタン」 小林幹夫さん

去年の12月上旬にパキスタンのカラチという都市においてポリオ撲滅の活動の一環としてワクチン投与を行って参りましたので、その状況について報告いたします。

写真はポリオワクチンを投与しているわたしです。こういうふうにワクチンを投与するといっても注射ではなく、口からの投与になっておりますので、医者でないわたしでも実施が可能というふうな仕組みになっています。

では、なぜ医者ではないわたしが参加するのか。わたしもこの活動に参加して15、6年経ちます。ロータリーに入ってからすぐ参加しました。このポリオに関していえば、どうも話を聞いているとどうしても医学的な話になってくるんです。専門的な話になって、話の途中から飛んでいってよく理解できない状態になっていきます。そこで専門家でないわたしが比較的簡単なことばで皆さんに説明して理解を広める、これが重要なのかと思って、15年の間に7、8回インドやパキスタンに行っています。

国際ロータリーのホームページにポリオに

関しての記載がありましたので、2つほど記載します。

まずポリオという病気について：ポリオは日本でいうと急性灰白髄炎。ひじょうに感染性の高い病気で、罹るのは5歳未満のこども。日本では昔は小児麻痺というふうに呼ばれていた病気です。このポリオウイルスは人から人へ感染して、最も多いのは汚染水。これはインドにしてもパキスタンにしてもそうですが、水がやはり完備されておりません。1回なってしまうと治療法がありません。ただ安全なワクチンで予防が可能です。というような内容になっています。このポリオに関しては、日本の感染症法では二類というふうに言われています。去年まで流行っていた新型コロナウイルスが当初二類相当というような言い方をしていましたので、それと同じような感染力とと思っているイメージでよろしいかと思えます。

もう一つ、ロータリーのホームページにはポリオに関する事実として5つありますと載っています。①罹りやすいのは5才未満のこども。②治療法はないけれどワクチンで予防が可能。③野生型のポリオウイルスは現状わずか2か国（アフガニスタンとパキスタン）。このアフガニスタンとパキスタンは、皆さん世界地図を頭の中に浮かべていただきたいのですが、隣接しています。隣同士の国です。1988年以降発症数は99.9%減少して、残り0.01%というような状況です。そしてポリオを永久に無くさない限り、感染リスクは全世界の子どもに及ぶという言い方をしています。何となくのイメージでいうと、この部屋をすごくきれいにして、99.9%すごくきれいにしているけれど、残り0.01%のために今一生懸命頑張っているというような状況です。

ロータリーにおけるポリオの歴史です。1979年から始まって現在40年以上の活動をしています。いくつかの節目があります。まずは2007年におけるビル・ゲイツ財団の協力。ロータリアンが1億ドル出すとビル・ゲイツ財団が同じ額の1億ドルを出すよ。これで一気に最後のところで頑張らましようという形

になりました。そして2014年でインド、2020年でナイジェリアが撲滅ということで宣言しています。そして最後に今残っているのはアフガニスタンとパキスタンの2か国という状況になっています。

ポリオがあった国の患者数の推移。このグラフでは2000年から2011年までしかないので、古い資料になりますが2011年以降ほとんどとっていいほど発生していませんので、このグラフで十分ご理解いただけると思います。

今から22年前の2002年にはインドでは約1,600人の患者がいたのですが、それが2011年には0になって、そこから3年0が続いたので、2014年に撲滅宣言という形になっています。現在残っているのはパキスタンとアフガニスタンですが、発症数も一桁といえば一桁で、もう0に近い状態まできているということです。

では日本はといいますと、1980年が最後の一例みたいです。1960年に一時期すごい流行ったのですが、ポリオワクチンを予防注射の一つとして定期接種していたらどんどん減って行って、1980年以降は日本では発症していないという形になっています。

これが実際に昨年パキスタンに行った際に弘前西ロータリークラブの成田俊介さんがそれをYouTubeを作ってくれました。財団のセミナーで流す話をしていました。これは基本的に2830地区のロータリアンのみで構成されたメンバーですが、その中にわたしの大学

生の息子と青森中央大学を卒業した女性の看護師が一人入っています。ポリオ投与の場面以外にも水の浄化器や地域の学校が映っていますので、注意深くご覧ください。

成田俊介会員作成 You Tube上映

カラチ市内のいろんな場所でワクチン投与をしてきました。やはり衛生環境が悪いので、今回、確かにポリオワクチンで行きましたが、水の浄化器一基75万円です。それ以外に学校を直そうという話が行っている間にロータリーの間で出てきて、何とか水の浄化器を作りたい。12月は2830地区だけで行きましたが、また別の部隊が1月、2月、4月に十数人ずつ行って、日本からトータル50人くらい今回のケースで行っています。結局衛生環境が悪いというのは、パキスタンは貧乏なんです。日本の1/100くらいかなという感じがしています。取り敢えず今日生きるのに必死だというふうなのが現地に行くときよく伝わってきます。

今年も11月23日に予定が組まれています。行くかどうかわたし自身まだ未定ですが、興味のある方はわたしのほうに言っていただければ、優先してパキスタンに移送させていただきますのでよろしくお願いします。1回に行ける人数が12人までと決まっています。なぜなら警察の護衛がつくからです。すべての移動について基本護衛がつきます。そのためにマイクロバスに乗る人数が決まっています。早い者勝ちですので、ご希望の方はわたしまでよろしくお願いします。

「八戸クリニック街角ミュージアムについて」



きょうはお招きいただきありがとうございます。きょうはミュージアムの活動内容についてご紹介させていただきたいと思います。ミュージアムは2012年に父を初代館長にして、わたしも当初から関わってオープンしましたので、今

八戸クリニック街角ミュージアム館長 小倉 学 さん

年で12年経ちます。近年コレクションを使った展覧会以外の活動もしていますので、その辺もご紹介させていただきます。

現在ミュージアムは春と秋だけ開館して、展覧会を行っています。この建物は元々生命保険会社の建物でしたので、温湿の管理が難しいということで、温湿の安定している春と

秋だけ現物を展示して展覧会を行っている形になります。展示しているのは2階の展示室という形です。開いているときは1階は1,000冊以上の蔵書がありますので、そちらも自由に見て頂くことができる形にしています。

現在は近代美人木版画展で、明治以降の木版画の美人画を展示しています。ミュージアムのコレクションの大きなものの1つが、現在展覧会を行っている木版画です。木版画の中でもミュージアムがコレクションしているのは伝統木版画というものです。それは浮世絵から始まる絵師と摺り師と彫り師が分業体制で、三者の分業体制で行う木版画です。ですので、棟方志功のような一人でぜんぶやるというような近代以降出来上がった木版画については集めていない形になります。

三者の分業体制でやりますので、ひじょうにレベルが高いです。技術的レベルがひじょうに高いということになります。絵師も摺り師も彫り師も小さい頃から一つの仕事で磨き上げてプロになって、そして分業体制で一枚を作るという形になります。ですので、細かいことでいうと、人物の髪の毛の生え際なんかは1ミリの間に3本や5本の毛を彫って、摺っています。それくらいの技術力になります。それで多色摺りを行い、ここまで発展させたのが日本が世界で特筆すべきものだということになります。

ミュージアムで集めている伝統木版画が主に浮世絵というものが有名ですが、実は浮世絵は明治の中頃くらいには衰退していききます。他の石版画などが流行して衰退していききます。それでなぜか日本のこういった浮世絵を中心とした木版画は終わってしまうというイメージが強いのですが、実はその技術は明治以降も続いて、昭和初期までずっと続いていました。ですので、ミュージアムではその伝統木版画を昭和の時代まで。昭和には今度は新版画という分野が新たに出てきますが、ここは世界的にも特に有名で特にステイブ・ジョブスがこの新版画のコレクターではひじょうに有名です。ダイアナ妃も執務室に新版画を

飾っていたりと、新版画の分野はひじょうに有名です。

日本の木版画というと浮世絵から新版画という大きな2つが世界的にも知られていますが、その間の、この2つですと江戸と大正から昭和というふうに時代が飛んでしましますが、この技術は続いているので、ミュージアムではこの間を埋めるものというものも全体的に体系的に集めるというコレクションを行っています。

この分野に入っているのが、まさに昨年の八戸市美術館のロートレック展でうちの作品も一室使わせていただきましたが、ジャポニズムに関係あるもの、横山大観の近代日本画、大観も有名になり第一線で活躍するのは大正以降ですから、明治時代が丸々抜けています。この忘れられた明治の時代の絵師や技術や作品というものを紹介できるコレクションになっているという形になります。

ですので、伝統木版画のミュージアムコレクションとしての意義は、浮世絵は一般的に売るものではないので、むしろ美術的価値が下がるというふうに思われるのですが、その代わり、一般に売るといことは一般の人にある程度知られた内容でなければいけないということもありますので、そこには古来より日本人が無意識に残してきた物語や造形感覚や思考というものが現れていると考えています。またこのコレクションは浮世絵が終焉後も時代に合わせ継承された伝統木版画文化の底の深さを証明するものであり、さらに木版画のみならず、近代日本画確立以前、明治初頭から大正初期の忘れられた日本画界を再考できるコレクションでもあると考えています。そしてそれは多様性を求められる現代において、わたしたちの基礎となる“日本らしさ”についても思考することができる、他に類をみないコレクションにできると考えています。

そういった形で、コレクション特に伝統木版画のコレクションを形成していています。

実際にここ数年くらいでも間を埋めるような分野の木版画というものも東京を中心にい

ろんな展覧会で特別展が開かれる、最近注目され始めている分野になっています。これが伝統木版画の分野で、この分野ではミュージアムでは木版画を約3,000点現在所有しています。

ご存じかと思いますが、吉田初三郎のコレクションです。吉田初三郎は八戸ゆかりの人物ですが、例えば、八戸市鳥観図なんかも作った人物になります。種差海岸に画室兼別荘を築いて、家族、弟子たちみんな呼んでそこで活動した人物になります。八戸の鳥観図は全部で4点あります。戦前、戦後各2点になっています。戦前と戦後で構図が大きく違う形になっています。縦横比も見た感じだいぶ違うと思います。

戦前のものは縦に大きく十和田湖から奥入瀬を流すような形で青森県を配置しています。そして横は海にどんと突き出す形に、実際の地形よりデフォルメして自分で形作って、海に突き出す形にして種差海岸を描く、という形にしています。これは当時この時に吉田初三郎が昭和7年に初めて八戸を訪れてから八戸が気に入って、八戸を拠点にするわけです。

そのときに神田市長と共に十和田湖が国立公園になることがほぼ決まっていたので、十和田湖に種差海岸をくっつけて、両方とも国立公園にしようという国立公園拡張運動を行った時代です。これを引っ張ったのが神田市長や吉田初三郎です。ですので、この鳥観図も初三郎はそれに合わせて、縦いっぱい奥入瀬も含めて山の十和田湖、横に突き出した海の種差というセットを強調するために作られたものです。真ん中にあるのはどちらに行くにも便利な八戸市になります。

戦後に作られたものは十和田湖を強調していないことがわかります。この時にはすでに十和田湖の国立公園に頼ることなく、産業が発展していつているので、こちらの町や工業港をしっかり描けるような形に、形を変形させているものになります。こういったように自由にデフォルメして、その地域の意図を盛り込んだ鳥観図にしています。ただ方角は場所によってめっちゃめっちゃに動いてしまうわけ

ですが、ただその道をまっすぐ行けば、どこどこに着くという形では正確にその位置に着くので、旅行案内としては活用できるような形になっています。

初三郎が昭和7年来て、そこから十和田湖国立公園拡張運動を行ったときの記事です。その他に初三郎は実際に建物一個一個をスケッチして、数百枚のスケッチを基に作っているといわれていますので、ですのでこういった二十八日町にあった錦座、円形の屋上もちゃんと描いています。これは金子常光という人の鳥観図では、まったくその特徴は表示していないような感じになります。

これは沈船防波堤です。戦後、食糧難のときに松尾鉦山から鉦物をとってそれを化学肥料に変えるのが求められたときに八戸港を中心に国内にその肥料を持って行こうとしたときに、防波堤を建てなければいけないがその時間が無いということで船を沈めた、沈船防波堤になります。今はないです。その様子もちゃんと船が3隻いる形で描いています。こういった形で正確に描いているところもあって、今は全国各地で郷土資料として初三郎の鳥観図は使われています。

初三郎は大正2年に京阪電車ご案内というものを書いたのが初めての鳥観図になります。これを後の昭和天皇が皇太子のときに電車で見、これはきれいで分かりやすい。東京に持ち帰って学友たちに見せたいということを書いて、皇太子殿下からそういうお言葉をいただいたので、鳥観図、旅行案内というものを使って国に尽くそうと決めた人物です。この鉄道省が発行した鉄道旅行案内というものを全部中身の挿絵を初三郎が手掛けたことによって、初三郎の名前は全国に知れ渡りました。そして全国各地から旅行案内の依頼が届いて、押しも押されぬ第一人者になった人物です。

さらに大正12年には皇太子殿下がイギリスに外遊したときに、その装丁も初三郎が任せられました。そこで鉄道や旅行関係だけでなく、皇室関係、その後戦争の時代に入ってくると、陸軍大演習のときには天皇陛下の後ろ

に初三郎の鳥観図が屏風として飾られていたということです。さまざまな仕事をした人物です。作品はスウェーデン皇太子に献上されたり、いろんなものがあります。「ビューティフル・ジャパン」今のインバウンドではないですが、昭和初期に日本も海外からの外貨を獲得するために日本を国際的にアピールする動きがありました。そのときに一番最初に作られた海外向けのポスターはこの作品で、初三郎が第一弾を手掛けたものになります。

国内でもひじょうに有名な人物になっていったわけですが、その人物が八戸の種差海岸を見て、種差海岸に画室を設けました。画室跡地はコンクリートの残りは画室のものとは別物になります。その後建てられたものの残りです。もっともっと大きい建物だったようです。

こういった初三郎の鳥観図をミュージアムでは約2,000点持っていて、その他にも初三郎の弟子が独立して活躍していますので、その他の弟子の作品も2,000点所蔵していて、恐らく鳥観図のコレクションは日本で一番のコレクションになっているはずです。こういった初三郎を紹介する形で、トランヴェールで紹介されたり、JR東日本と東北観光推進機構のオンライン講座もわたしがやらせていただいています。その他、去年は日経新聞にも全国版で取り上げていただきました。今、府中市でも初三郎の展覧会が行われていますが、どんどん初三郎の名前も知名度も上がってきています。7年くらい前には美術の全集にも初三郎がついに取り上げられています。

その他、活動としましては、もう一つコレクションがあり、映画ポスターです。これはだいたい5,000点あります。この映画ポスターは肖像権関係の問題でポスターでの展覧会関係は難しい。その代わりに、昨年からフォーラムはちのへがなくなってしまったことをきっかけに、映画の上映会を支援する勝港をやっています。これは誰でも、学生でも気軽に上映会を主催できるというものになります。それをノウハウや、ときどき行くとやはり数万円の赤字になるところを支援してあ

げたり、人員も含めてバックアップしてあげて上映会を気軽に行うことができる環境を作っています。これが昨年、ある方が主催したものをうちが支援した映画です。さらにこの活動をもっと知っていただくために、昨年はローテック展に合わせて、7作品9回の上映会を主催で行いました。こういった形で映画の上映会を頻繁に行っています。この夏も7月に6回くらい上映会を予定していますし、また冬にも行う予定です。この上映会はひじょうに地域のコミュニティという意味でもすごく重要なものだと考えています。

そのうちの一つに子どもキャラバンというものをやっています。これは公民館や学校にプロジェクターと映画の素材を持って行って、子どもたちに無料で大きなスクリーンで映画を見せてあげる取り組みになります。これも流す映画はどちらかというと地方であり見られない、大きなシネコンではやっていないような映画で、去年ですと海外で、フランスで作られたアニメーション、今年はアイルランドのものを持ってきますし、そういったものを中心に、ふだん見られないような映画を、大人が子どもに見せたいような映画を見せてあげる取り組みです。

さらにこの取り組みは公民館でやると子ども限定でやっているわけではないので、赤ちゃんから80代のおじいちゃんおばあちゃんまでが同じ空間で一緒に映画を楽しむという、そういった場になっています。その後子ども食堂をやったり、いろいろなものと連携しながらできる形になっています。そうすると本当に地域の人たちと顔を見れる形で、一緒に楽しむというような空間になっています。

上映会自体も子どもキャラバン以外の上映会に関しても、お客様たちがフォーラムはちのへがなくなってしまったということを悲しんでいるので、映画の上映会をやることをひじょうに感謝している。しかも主催する側も来ていただいてありがとう。映画が終わった後に本当にお互いが感謝の気持ちで溢れるような空間になっているので、これは本当に普通にシネコンで映画を観るといった形とは違っ

た、ようはお金を払って、そのお金の対価としてのサービスをどれくらい受けるかという感覚ではなく、お互いに感謝しあうような形で映画の上映会が作られていくというような時間と空間になっています。ひじょうに今後も続けていきたいと思っています。

そしてもう一点、コロナの時期に始めたものですが、八戸ヒストリアという活動もしています。これはお配りしているちらしにもありますが、これは八戸の歴史や文化を紹介するインターネットのサイトになっています。この中には年表。これは八戸の年表と日本の年表を約800項目、恐らくこの2つの組み合わせでも年表に関しては一番詳しいものになっていると思います。誰でも自由にいつでも見ることができます。旧石器時代から昭和まで入っています。そして間にはその地域の、八戸の文化財を写真と学芸員の解説で載せています。その内容は文化財の検索のページでも見ることができます。またマップの中にピンを立てて、ここの地域の紹介、その文化財、古い建物、石碑の紹介もしています。

八戸文化館のページも作っています。ここはいろんな内容があります。例えば八戸に在住していた外国人の方々に母国語で八戸を紹介する文章をいっぱい書いてもらっています。かなりの言語のサイトになっています。この中にはそこからさらに要約を日本語で書いたものもあります。それはその外国人の方々がみんな日本人に、地域の人にこそ読んでもらいたいという思いがあって、日本語でも書いています。

また八戸の各側面、アート方面、経済方面だったり、商工会議所の方にも書いてもらったり、八戸のある分野ごとの紹介をしてもらっています。八戸の郷土料理、八戸友の会と協力して家庭の郷土料理のレシピを公開しています。その他、八戸に県で指定されている伝統工芸品が8つありますが、それに関する詳細も紹介しています。さらに特徴的なのは論文です。八戸には4大学や短大がありますが、そこで開校当初からの論文がいっぱいたまっているだけですが、その中から八戸に

関係あるものだけをピックアップして、それが約280論文ありますが、それを分野別に分類して検索もできるような形にしていますし、概要も読めるようにしています。データでみる八戸。市が出している第7次総合計画の中から、その中に政策を行うための前提となるデータがいっぱい入っているので、そのデータを一個一個切り刻んで、データとして紹介しています。人口統計、経済、企業、食などこれをクリックするとここに統計が映るような形で、八戸のことをより知ることができるサイトにしています。

こういったサイトをコロナのときから約3年かけて、半分くらいは文化庁の補助金をいただいて製作します。まだまだ情報は十分ではないので、これからどんどん更新していく予定です。

その他、八戸のデザイン視点。デザイナーが八戸にいた初期からそういったデザイナーの人たちを紹介することによって八戸の歴史を紹介する活動、街中アートマップで市と連携して街中のお店に飾っている絵を紹介したり。郷土の関連図書がどんどんなくなってきているので、今それらを集めて公開する場所を設ける活動。今年から寄って見ってということで、美術館との連携で市内の歴史や文化に関係のあるイベントを集約して、それを毎週、ライン登録してくれた方に直接ラインでお届けするというような活動も今年度から始めています。

こういった形で最近はいろんな活動をするようになっています。

紺野会長から小倉様へお礼：

質疑応答：

会長講評：小倉さん、卓話有難う御座いました。発信力の有る幅広い活動を為さって居る事を初めて知りました。私は未だ一度も街角ミュージアムに御伺いして居りませんが、折角此れだけ素晴らしい事を為さって居られますので、我々の方でも出来るだけミュージア

ムを利用して戴いて、町を理解して、子供達が町を知った上で前に進める様、御手伝いをして行きたいと思います。今日は本当に貴重な御話しを有難う御座いました。

情報委員会の方々からは、ロータリーの基本に関して御話し戴きました。シカゴのロータリーの創設時の内容で、「町を作る」と云う言葉が出て参りました。私も同じ思いをロータリーに入ってから持って居ります。昔も今も同じ様な事を、ロータリアン皆が考えながら集い、そして活動して居ると云う事を、改めて勉強させて戴きました。本当に有難う

御座いました。

小林さんの御話しは駆け足に成ってしまいましたが、矢張り現地は大変だったのだと云う事が良く分かりました。今年も又、パキスタンへの旅程が組まれて居る様ですので、出来るだけ多くの方々で行ければ良いなと思います。小林さん、御子さんが本当にそっくりで、吃驚致しました。

では、本日の例会を此れで終了致します。御話し戴いた皆様、本当に有難う御座いました。

出席報告						出席委員会	
第3314回例会（5月22日）			第3312回例会（5月8日）				
出席率		60.9%	出席率		65.1%	修正出席率	68.3%
総会員数		65名	出席数		37名	メイクアップした人数	
出席義務会員		64名	出席免除会員		1名	欠席数	
			欠席数		25名	出席義務会員	
			出席義務会員		63名	出席免除会員	
			出席免除会員		2名	欠席数	
						20名	